

昭和63年

8月7日

第1119号

発行日 毎週日曜日

発行所

新潟市役所

〒951
西堀通6-866

企画部広報課
印刷 柳第一印刷所

市の人口 (6月末現在)

人口 472,729人
男 229,589人
女 243,140人
世帯数 157,450世帯

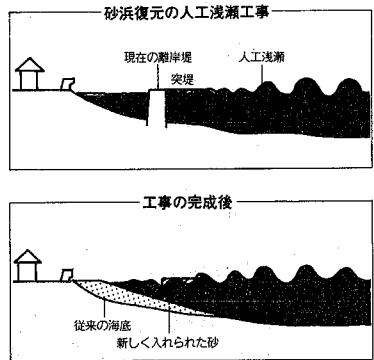
にいがた



北陸自動車道が全通

一大高速ネットワークを形成

北陸自動車道の未開通区間、上越市茶屋ヶ原の名立谷浜インターと富山県朝日町の朝日インター間五九五が完成し、七月二十日午後四時に供用開始されました。四十二年の着工以来二十一年ぶりの全線通車です。北陸自動車道は滋賀県栗原町で名神高速道路と約七キロ、新潟一大區を約七時間かけて結びます。全線開通によりこれまで比較的に薄かった新潟と北陸、関西方面との経済・観光、文化などの交流が活発化することが期待されるほか、関越、東名(中央)のほかに、北陸という全長一千七十里にも及ぶ一大高速ネットワークが完成し、関東、東海、



波による浸食が激しく、海岸線が大きく後退した西海岸で、沖合に浅瀬を人工的に造り波の力を弱めて浸食を食い止め、さらに砂を入れ替えるような砂浜をよみがえらせることも可能な海岸復元工事が運輸部第一港湾建設第一工場の無事完成を祈っています。北部(入船)地区住民の長年の祈願であった工事の無事完成を祈って七月十九日、若杉市や地元住民ら出席して起工式が行われ、二葉中学校や舟栄中学校のブラスバンド、親子潮干狩りなど楽しい催しが相まって大いに盛り上がりしました。

「よみがえれ! 砂浜」

西海岸復元工事に熱い期待

西海岸は、かつては信濃川が運ぶ砂で豊富な砂浜を形成していました。しかし大滝澤分水の完成、河川・港湾改修工事などで同海岸への砂の量が大幅に減り、波の浸食にさらされるがまま、明治二十年ごろに比べ五百一十三百五十メートル海岸線が後退しました。昭和二十年代から海岸線の五百五十メートル沖に消波ブロックを積み、離岸堤を築いたため海岸浸食はほとんど食い止めることができたようになり、また、この離岸堤その基部が波で削られるなど、沈下するため、毎年多額の費用



をかけたの補修が必要。このため、サンゴ礁のような自然海岸の浅瀬による消波効果を応用し、より安定した浸食対策として考えられたのが、今回の人工的に浅瀬を造る方法です。人工浅瀬は現在の離岸堤の四百ほど沖合、水深八九メートルの地点に幅四十メートル、長さ五百メートルの消波ブロックを沈めて新しく消波堤を築

くといひもの。また、海底の砂が横に逃げないように離岸堤から沖へ、長さ二百メートルの約四百五十メートル間隔で完成する。人工浅瀬と突堤の造り後、海底の砂の安定を確認して離岸堤を撤去。海岸線と人工浅瀬の間に砂を入れて砂浜を復元します。

新市庁舎の壁画(モザイク)原画を市民から募集中

市では、来年八月完成の新市庁舎に飾る壁画(モザイク)の原画を募集しています。原画の応募要項は次のとおりです。素晴らしい作品をお待ちしています。

応募テーマ 「新潟の人」として、市と市民一人ひとりの歴史、市と市民一人ひとりのふれあいと連帯をねがひ、歴史的、風土的土壌を象徴するもの。

応募資格 県内出身者、県内に住む人

作品規格 縦66×横96センチ、パネル張り、キャンバス、またはイラストレーションボード(厚さ一・五センチ以上)

応募点数 未発表の作品、一人二点以内

表現方法 自由。ただしコンピュータグラフィックスは除く。

表現方法 凹凸のある原画を考えた場合は、原画のほかに簡易な説明図を付けて下さい。

審査・展示 入選一点、佳作1-3名、(306)へ

市民病院で薬剤師(短期臨時)を募集しています

市民病院では、次のとおり薬剤師(短期臨時)を募集しています。

業務内容 薬剤師業務補助
応募資格 薬剤師免許取得者
雇用期間 十一月十五日までの約三ヵ月間
給与 日額五千七百円
申し込み 市民病院総務課庶務係(電話241-5151、内線3254番)へ

私の思い出 僕の夢®

「水の新潟 五采堀」

新潟市制100周年 昭和64年

私の家の近くに、かつて五采堀川が流れていた。この堀にかかる五采橋をへだて、上手本町十一番町は、古くは徳のせり市場や御小光の店が軒をたらし、魚町と呼ばれていたが、今はな

下本町土番町は野菜、果物を中心に朝市と日露店が立ち並び、これはでももに変わっている。子供のころ五采堀は水量も多く、岸の柳の青きにも似てゆたりと流れていた。

本間 栄一さん

市役所	教育委員会	228-1000
体	育	229-6633
野球場	テニスコートの申し込み	266-8111
火災の場所を知りたい		224-1111
市民	病	241-5151
センター	院	286-1034
市	芸	243-5311
東	保	243-5311
石地区	健	286-4450
山地区	健	285-2373
鳥屋野地区	健	259-7332
北地区	健	286-5171
西地区	健	262-3405
坂井地区	健	260-3255
市医師会	休日診療センター	231-4136
県南科医師会	休日診療センター	283-3030
水道	局	266-9311

突然ですが、遷都・分都についてご意見をお聞かせくださいませんか

しるば

夏号にいがた

Vol. 32 発行

突然ですが、遷都・分都についてご意見をお聞かせくださいませんか

魚沼堀之内やなばのように石段で水辺に降りられ、時おり洗った物をするおみぎの姿を見られるなど、これら下町の堀として生きてきた。

小学校二、四年生のころ名もない小魚を追って堀に落ちたこともあったが、今は失明の身。新しい新潟は知らないが、五采堀の水の色はまたの裏に焼きついておぼえて、なつかしい思い出される。

昭和三十年代の半ばごろは五采堀の呼び名しか残っていないが、それも次第に忘れられていく。

本町通12在住 61歳